

＜ご挨拶＞

皆さまには、平素より格別のお引き立てを賜わり、誠にありがとうございます。

危機対応業務の要件確認における不正行為事案に関し、経済産業省、財務省、金融庁、農林水産省より、株式会社商工組合中央金庫法第59条及び株式会社日本政策金融公庫法第24条にもとづく行政処分を受けました。(平成29年5月9日公表) この度の問題に関しまして、お取引先の皆様その他多くのステークホルダーの皆様に、多大なるご迷惑とご心配をおかけしておりますことを、深くお詫び申し上げます。

今回の行政処分を厳粛に受け止め、このような事態を二度と発生させることのないよう、調査を継続して全容を解明するとともに、業務の改善計画を策定の上、直ちに実行し、信頼回復に全力をあげて取り組んでまいります。

＜金融経済環境＞

平成28年度のわが国の経済は、年度前半は海外経済の減速や金融市場の動揺を受け、景気回復の動きに停滞感がみられました。年度後半になると海外経済の持ち直しや消費マインドの回復を受け、持ち直しの動きがみられました。

商工中金の「中小企業月次景況観測」において、中小企業の景況感は一進一退で推移しました。人手不足と回答した企業の割合が調査開始以来の最高値を更新するなど、労働需給の逼迫による人件費負担の増加等が懸念されています。

＜平成28年度の回顧＞

このような環境のもと、平成28年熊本地震をはじめとする突発的な自然災害や世界経済の減速等の外的要因による中小企業の皆さまの業績や資金繰りへの影響を踏まえ、危機対応業務の実施を責務とされた指定金融機関として、引き続きセーフティネット機能の発揮に最大限の対応を図り、中小企業の皆さまの資金繰りや経営の安定化へのサポートを通じて、地域の雇用維持、経済の安定化に貢献できるように取り組んでまいりました。

収支につきましては、低金利環境の下、利回りの低下等により資金運用収支は減少いたしました。491億円の経常利益、313億円の当期純利益を計上することができました。この間の株主の皆さまならびにお取引先の皆さまのご支援に厚くお礼申し上げます。

＜平成29年度の業務運営＞

景気は、設備投資が一進一退であるものの、海外経済の回復や雇用環境の改善を受け、持ち直しの動きがみられます。中小企業の景況感、概ね横ばいの動きとなっておりますが、原油価格の上昇や人手不足の影響等により、今後のコスト上昇への懸念が高まっています。

また、将来的には人口減少時代の本格到来やグローバル化の一層の進展が見込まれ、中小企業の経営ニーズは、一層高度化・多様化することが考えられます。そうした経営ニーズに対し、セーフティネット機能はもとより、ネットワーク機能やソリューション機能を最大限活かし、中小企業や地域経済を支えていくことは当金庫の使命そのものであります。

日本銀行による金融緩和により、金融機関を取り巻く経営環境は変化しておりますが、顧客第一主義の業務運営を徹底・実践することを通じて、引き続き皆さまから信頼され、選ばれる金融機関として、中小企業と中小企業組合の企業価値向上や地域活性化への貢献に全力をあげて取り組んでまいります。

まず、業績や資金繰りに影響が生じている中小企業からの借入相談に対しては、懇切・丁寧を旨とし、個々の相談者の事情に十分配慮しつつ対応してまいります。また、危機対応業務の実施を責務とする指定金融機関として、迅速・適切に対応し、引き続きセーフティネット機能の発揮に組織をあげて最大限取り組んでまいります。

成長支援につきましては、戦略的に海外展開を行う中小企業、地域経済への波及力の高い地域中核企業、地域資源の活用にも他の事業者と連携して取り組む中小企業や中小企業組合に対し、地域金融機関等と連携し、リスクマネーを供給してまいります。生産性向上を目的とした設備投資、集約化等の事業再構築、人手不足への対応等に関するニーズの高まりが見込まれる中、「適時適切な成長資金の供給」、「海外展開支援」、「M&Aや事業承継支援」、「ビジネスマッチング」等への取組みを強化してまいります。

さらに、再生支援につきましては、各支援機関との連携を一層強化し、経営改善計画の策定支援やそのフォロー等のコンサルティング機能の発揮、抜本的な再生支援、金融取引の正常化支援等に取り組んでまいります。

これら諸課題への取組みの強化に加え、危機対応業務の要件確認における不正行為を踏まえて、①組織体制について外部のチェック機能を活用し、厳格なコンプライアンス実施体制の構築と取締役会の関与の強化、②リスク管理態勢について不正リスクに主眼を置いた業務点検の実施や内部監査の強化等、③意識改革として、経営と現場との間の企業理念の共有やコミュニケーション強化及びコンプライアンス意識向上のための研修の充実等

を図ってまいります。

また、安定的な調達基盤の拡充、一層の経営合理化に取り組むことによる健全な経営基盤等の構築により、当金庫の使命である中小企業と中小企業組合の持続的成長に貢献してまいります。

<むすび>

今後も引き続き、「中小企業による、中小企業のための金融機関」として、皆さまから信頼され、支持され、これまで以上にお役に立てるよう、役職員一同、全力で努力を続けてまいります。

皆さまのこれまでの格別のお引き立てに感謝申し上げますとともに、引き続き力強いご支援を賜りますようお願い申し上げます。